

製品名: MAZ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13677**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	MAZ
別名	MAZ; ZNF801; Myc-associated zinc finger protein; MAZI; Pur-1; Purine-binding transcription factor; Transcription factor Zif87; ZF87; Zinc finger protein 801
遺伝子 ID	4150.0
SwissProt ID	P56270
免疫原	抗血清はヒト MAZ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 159-208

背景

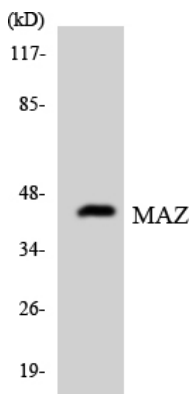
機能: 転写開始と転写終結の二重の役割を持つ転写因子として機能する可能性がある。c-myc プロモーター内の2つの部位 (ME1a1 お

よび ME1a2) に結合し、前者に対してより高い親和性を示す。また、Sp1 ファミリーの転写因子のプロモーター内の複数の G/C リッチ部位にも結合する。類似性:6つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。細胞内局在:アルツハイマー病患者の脳では、プラーク様構造として存在する。サブユニット:BPTF と相互作用する。組織特異性:腎臓、肝臓、脳に存在。脳では、運動野と中前頭皮質に最も多く存在する (タンパク質レベル)。機能:転写開始と転写終結の二重の役割を持つ転写因子として機能する可能性がある。c-myc プロモーター内の2つの部位 (ME1a1 および ME1a2) に結合し、前者に対してより高い親和性を示す。Sp1 ファミリー転写因子のプロモーター領域内の複数の G/C リッチ部位にも結合する。類似性: 6つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。細胞内局在: アルツハイマー病患者の脳において、プラーク様構造として存在する。サブユニット: BPTF と相互作用する。組織特異性: 腎臓、肝臓、脳に存在。脳では、運動野と中前頭皮質に最も多く存在する (タンパク質レベル)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; ジンクフィンガー

画像データ



MAZ 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。